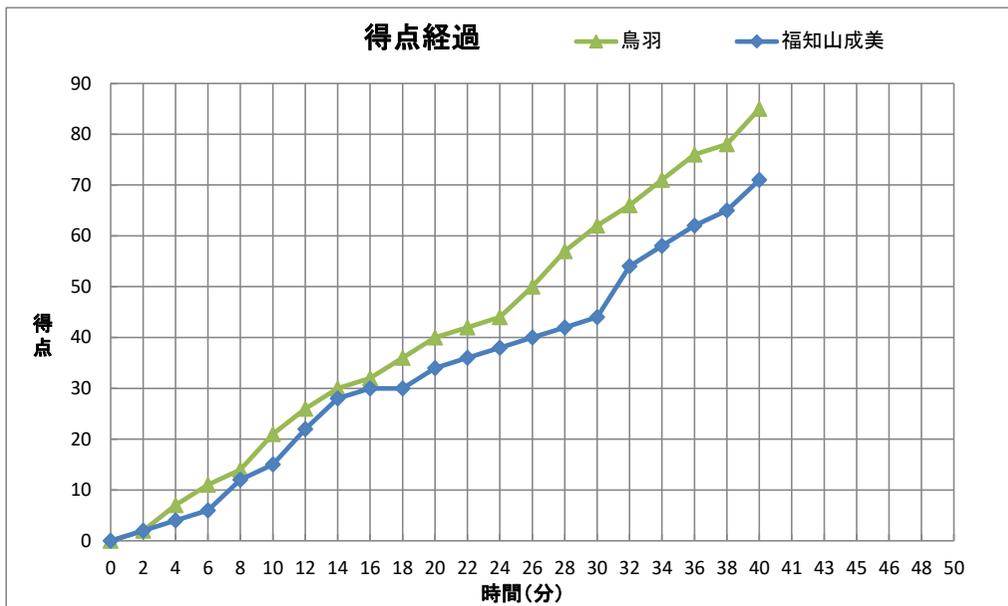




第44回京都府高等学校バスケットボール選手権大会 兼
第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会 京都府予選

個人トータル表

女子		11月4日				9:30 開始															
決勝リーグ		島津アリーナ京都				Mコート															
◎ 鳥羽		85		<table border="1"> <tr><td>21</td><td>1st</td><td>15</td></tr> <tr><td>19</td><td>2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>27</td></tr> </table>		21	1st	15	19	2nd	19	22	3rd	10	23	4th	27	71		福知山成美	
21	1st	15																			
19	2nd	19																			
22	3rd	10																			
23	4th	27																			
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則								
* 00	初瀬川 陽春	18	3	4	1	2	* 0	サイダット アジョーク	12	0	6	0	3								
3	下川 真葉	-	-	-	-	-	1	ウカ リジョイス	6	0	3	0	2								
11	稲葉 一花	0	0	0	0	0	6	永田 蒼空	-	-	-	-	-								
17	藤井 優奈	-	-	-	-	-	* 11	田中 結衣菜	8	0	4	0	4								
18	小阪 一葉	-	-	-	-	-	13	松本 りあ	-	-	-	-	-								
20	上田 沙稀	-	-	-	-	-	15	藤本 彩夢	-	-	-	-	-								
* 25	田中 穂純	19	0	6	7	4	* 22	畑 実来	6	0	3	0	4								
27	饒平名 厘	-	-	-	-	-	25	川本 佳里奈	0	0	0	0	2								
29	宮本 なつみ	-	-	-	-	-	* 27	前川 紗季	29	4	6	5	2								
* 31	安達 舞	17	1	7	0	0	30	中島 未優菜	-	-	-	-	-								
* 32	西田 心美	13	1	3	4	4	37	田上 優依	-	-	-	-	-								
* 33	和田 寧々	18	2	5	2	4	54	石塚 優希	-	-	-	-	-								
45	秋山 結香	-	-	-	-	-	71	向山 空花	-	-	-	-	-								
75	宮本 のぞみ	-	-	-	-	-	* 87	井上 華乃	10	1	3	1	4								
93	廣田 朝羽	0	0	0	0	0	91	田中 陽菜乃	0	0	0	0	0								
コーチ	富山 唯					0	コーチ	伊藤 久					0								
Aコーチ	川端 奏絵						Aコーチ	高見 義和													
合計		85	7	25	14	14	合計		71	5	25	6	21								
主審: 小出 聡子																					
副審: 赤井 正史																					
副審: 南 麻衣																					



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	36:31	:	:	:	:
TeamB	16:59	24:32	32:13	34:37	:	:

〔戦評〕
Winter Cup京都府予選、女子決勝リーグ、鳥羽高校対福知山成美(以下、成美)高校。3枠あるWC出場枠をかけたの一戦となった。鳥羽のスターティングファイブは#31#00#25#32#33、成美のスターティングファイブは#0#11#22#27#87。
第1Q、高さで勝る成美に対して鳥羽は人数をかけて厳しいプレッシャーで守る。鳥羽はファーストブレイクから、成美はオフェンスリバウンドから、と互いの良さを出しながらの得点が続く。1Qを通して成美はゾーンディフェンス。対して鳥羽は粘り強いオフェンスリバウンド等から加点していく。鳥羽はアウトサイドだけではなくペイントでも得点を取り始める。流れが鳥羽に傾き始めたところで成美は#27の3P、果敢なペイントアタックで流れを繋ぐ。鳥羽はアウトサイドの得点も決まり始め、21-15の鳥羽リードで1Q終了。
第2Q、成美#87の3P、鳥羽#33の3Pで両チームの点数が動く。その後、点の取り合いをする中で2Q中盤、鳥羽は成美のゾーンディフェンスを徐々に崩し始めるが、成美も#27がフェイスガードをされながらもチームを牽引し、鳥羽に食らいついていく。鳥羽はアウトサイドシュートに頼ることなく、しっかりとペイントエリアでの得点チャンスを探りながら着実に加点をし、リードを保ち続ける。成美は#0がなんとかオフェンスリバウンドを拾って繋ぎ、40-34の鳥羽リードで前半終了。
第3Qも成美はゾーンディフェンス。鳥羽はオフェンスリバウンド、粘り強いルーズボールで流れを引き寄せ。46-38の鳥羽8点リードで成美は後半最初のタイムアウト。そこから鳥羽の3P、成美#27のドライブなど、一気に試合が動き出す。鳥羽は#00の3Pで53-40とリードを広げる。成美はたまたまディフェンスをマンツーマンに変えるが、果敢にペイントアタックをしてくる鳥羽の勢いをなかなか止めることができない。62-44の鳥羽リードで3Q終了。
第4Q、成美は#27がドライブからのレイアップ、連続3Pと立て続けに得点。オールコートでのディフェンスプレッシャーも功を奏し、試合の流れを掴んで66-56の8点差に詰め寄るが、鳥羽はひるむことなくリングアタックをして流れを引き戻し、3Pも織り交ぜながら再度リードを18点差にまで広げる。その後、成美も足を使ったディフェンスで鳥羽のターンオーバーを誘発し、#27の3P等で粘りを見せるが、積極的なオフェンスを最後まで展開した鳥羽がリードを保ち、85-71で試合終了。鳥羽は1995年以來のWC出場を勝ち取った。